

市町名	課題
加須市	<ul style="list-style-type: none"> ・医療環境:本市の医療施設数(病院、一般診療所、歯科診療所)、病床数、医師数は、国、県平均を下回っています。今後も少子高齢化などにより、医療資源の確保が困難になることが予想されます。産婦人科については、産科医は医療訴訟率が高いことなどにより、目指す医師が減少傾向にあり、本市でも産婦人科の市内開設に対して補助制度を設け、ホームページ等で周知していますが、2か所目の開設に至っていない状況です。 ・救急医療:市外医療機関への救急搬送は、市内医療機関への搬送に比べると、搬送時間が長くなるため、市内の受入医療機関のさらなる充実が必要です。救急出動において、救急車の適正な利用に向けた対策が必要です。 ・周産期・小児医療:小児の初期救急医療体制は、市内5つの小児科専門医療機関において休日小児科診療を実施し充実していますが、第二次救急医療体制をより充実させる必要があります。周産期医療を行う医療機関は県南東部に集中しており、利根保健医療圏を含む近隣に周産期医療施設の整備促進を図る必要があります。 ・在宅医療:広域の医療機関との連携やオンライン診療の推進などの対策が必要です。
久喜市	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所は医師1人体制のところも多く、医師の高齢化・後継者不足・将来的な活用方法の検討 →診療所(かかりつけ医)存続策の検討が必要である ・分娩を取り扱う医療機関がないことから、近隣医療機関への交通支援施策の検討 ・(初期救急について)小児の受診件数が多く、医療機関の負担が大きい ・特に小児の初期救急については、広域での対応が必要である
白岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・医師不足の影響による婦人科を取り扱う医療機関がない→市内の病院に対し、婦人科診療の追加を要望する ・小児の休日診療体制が構築されていない→県内他市町の事例を調査し、体制の構築に向けた検討を進める ・診療所における、医師の高齢化・後継者不足が発生しており、将来的な医師不足が予想される →国・県に対して、医師不足解消に向けた取り組みの推進を機会を捉え要望する ・診療科目により、受診できるがん検診が限定される(婦人科検診) →近隣市の医療機関と契約による受診医療機関の拡大を図る
宮代町	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に病院がなく休日夜間診療を実施する医療機関もない→利根保健医療圏における広域的な二次救急医療体制の確保 ・町内における診療所の偏在→診療所の誘致、効率的な活用の検討 ・診療所は医師1人体制のところが多く、医師の高齢化、将来的に医師不足が生じる→医師の確保、かかりつけ医存続策の検討
杉戸町	<ul style="list-style-type: none"> ・町内における診療所の偏在 → 診療所の誘致、交通手段の確保・効率的な活用方法の検討。 ・町内の病院が1か所 → 利根保健医療圏における広域的な二次救急医療体制の確保 ・分娩を取り扱う医療機関が無い → 実態を把握。支援の例:妊婦タクシー・陣痛タクシーの検討、誘致補助金など ・診療所は医師1人体制のところも多く、医師の高齢化・後継者不足・将来的な医師不足 → 診療所(かかりつけ医)存続策の検討の必要性。 ・町民の疾病予防や早期発見・早期治療のためにも、特定健診やがん検診を身近な医療機関で受けられるよう、体制の充実を図る必要がある。